

公益社団法人私立大学情報教育協会  
2020年度第2回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

I. 日時：令和2年7月7日（火） 15：00～16：00

II. 場所：Teams ネット会議室

III. 参加者：柴田担当理事、宮川委員長、中嶋副委員長、高橋副委員長、浜委員、服部委員、  
峰内委員、岩本アドバイザー  
（事務局）井端事務局長、野本（記）

#### IV. 検討事項

1. 今年度の「大学情報セキュリティ研究講習会」の開催について

- ・ 8月下旬に予定していた大学情報セキュリティ研究講習会は、開催時期を9月中旬から下旬に変更し、Zoom を利用した実施の可能性について以下の委員の意見を踏まえて検討してきたが、情報センター等部門においてオンライン授業への対応により参加が見込めないことから、事業を中止することを委員会の結論として決定したい。なお、理事会としては、5月理事会において中止の可能性を含めて総会で案内したことが報告されたことを受けて、開催について検討を進めた。
- ・ 事前にヒアリングし、委員から以下のような意見があった。
  - ① 秋学期以降の授業形態が未確定で、参加できるか否か疑問。
  - ② 9月以降は、対面授業が再開されると思うが、いつでもオンラインに切り替えられるような対応が求められ、負荷が引き続き高い状況が想定される。
  - ③ 補講や試験の実施が未確定で、職員の対応範囲が不明。
  - ④ 申し込みはしたが、参加しない、できないという状況が多くあると思われる。
  - ⑤ 今年度は、セキュリティに計上していた予算をネットワーク増強に切り替えるなど、現実的にセキュリティ関連への優先度が下がっている。
  - ⑥ 国立情報学研究所の大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム、情報通信研究機構の実践的サイバー防御演習など無料での公表・開催がある。
  - ⑦ 運営委員の講習会への準備ができるか否かも、大半は見通しが厳しいと想定される。
- ・ 各委員から現状確認を行うと、教職員がコロナ対策での対応で、かなり疲弊しており、セキュリティどころではないことから、コロナ後での開催で良いのではないかと。
- ・ かなり感染者のいる中で、オンライン対応など学内学務が落ち着く見通しが見込めず中止もやむを得ないのではないかと。
- ・ 教職員の負荷があがり、具体的にはネットワーク関連などの課題が解決できてからでないと見通しは立てられないのではないかと。
- ・ 以上のような意見から、情報センター等部門からの参加者が見込めないことから、「今年度は、中止もやむなし」との決定をした。
- ・ また、ベンチマークテストも今年度の実施は見送ることにする。

2. 情報セキュリティ関連情報の提供について

各機関等がテレワークなどでのセキュリティ注意喚起を Web で公表しており、私情協のプラットフォームにリンク形式で整理して情報共有を図ることを情報セキュリティ対策問題小委員会で検討することが報告された。

3. サイバーセキュリティ協議会について

枠を超えた情報共有・連携体制の構築・推進のため、内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター中心に設立された協議会に本協会の入会が承認されたことが報告された。

#### V. 次回のスケジュール

本年度の「大学情報セキュリティ研究講習会」は中止とし、加盟大学に開催中止の案内を送る予定にしている。（7月20日付け、公社私情協発第37号で発信）